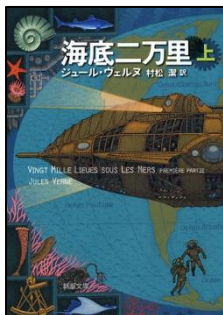


南高図書館だより

2024 年 3 月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『海底二万里』

ジュール・ヴェルヌ／著 村松潔／訳 新潮社(新潮文庫)

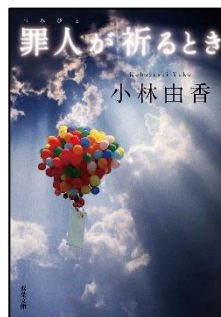
時は 1866 年、何隻もの船から、航海中に「正体不明の巨大なもの」が目撃された。これ以降、船は次々と行方不明になり、2つの大陸間の海上交通は混乱した。アロナクス教授は使用人の CONSEYU と共にその正体を暴くため、高速フリゲート艦に乗り込むが……

予言作家ジュール・ヴェルヌによる SF 小説の傑作！

『罪人が祈るとき』

小林由香／著 双葉社(双葉文庫)

この本のテーマは「いじめ」と「復讐」です。物語の中で出てくる3人の人物はいじめの復讐として殺人を計画します。どんな理由があろうとも殺人はいけな。そうわかっているにもかかわらず割り切れないものがある、復讐することで助かる命があるということが本を読み進めるうちに伝わってきて復讐を否定できない、肯定してしまう自分が出てきます。また、ラストの罪人が祈る場面では『罪人が祈るとき』のタイトルを実感することができます。



©MOMOKO SAKURA

『おんぶにだっこ』

さくらももこ／著 集英社(集英社文庫)

2歳の頃こんなことを考えていたのか！と誰もが自分の幼少期を思い出せるような物語です。さくらももこさんの幼い頃が描かれた何気ない日常の笑いと感動のつまった一冊です。「まる子」以前のピュアな気持ちがたくさん！閉まっておいた苦い思い出、家族とのあったかエピソード。あのときの、あなたを思い出して自分をもっと好きになれるかもしれません！

図書館からのお知らせ

◆春休みのお知らせ◆

春休み中の図書館について

3月23日(土)～4月7日(日)は春休みです。新年度に元気な顔で会いましょう。
春休み中の貸出冊数等は次のとおりです。

春休み中(3/23～4/7)は休館です。

春休み前の貸出
10冊まで

返却日
3/11(月)～3/22(金)貸出分 → **4/15(月)**

蔵書点検(3/12～3/14)を実施しました

図書館の3万冊を超える本のバーコードを、1冊ずつ専用の機械で読み取り点検する、蔵書点検を実施しました。図書委員を中心とした生徒が3日間、根気のいる読み取り作業にあたってくれました。

蔵書点検中にご協力ありがとうございました。図書館は 3/22(金)まで開館しています。
春休み前にたくさん図書館を利用してください。

返し忘れの本、ありませんか？

返却期限が過ぎたまま、返し忘れていた本はありませんか。

心当たりのある人は、きちんと返却して、

気持ちよく新学期を迎えましょう！



新着図書PICKUP

2月に新しく入った本



知識の本

能力はどのように遺伝するのか「生まれつき」と「努力」のあいだ

安藤寿康／著 講談社(ブルーバックス)

心や行動はすべて遺伝的だが、遺伝は環境や状況によって変化するものである。遺伝的多様性が格差を生み出す場合、悪いのは遺伝子ではなく環境のほうが遺伝子に対応していないのだ、と行動遺伝学の研究者である著者は言う。最新のゲノム研究から行動におよぼす遺伝の影響を知り、遺伝が原因となって引き起こす問題への方策を考える。

ガザとは何か パレスチナを知るための緊急講義

岡真理／著 大和書房

昨年10月に始まったパレスチナ自治区ガザ地区での戦闘を受けて緊急に行われた、パレスチナ問題を専門とする著者の「ガザとは何か」という大学での講演をもとに編集、再構成した本。現在起こっていることを「他人事」にしない、歴史的背景や問題のポイントをまず知るための一冊。

生命の時間図鑑 グラフで見る動植物の体内時計

ヘレン・ピルチャー／著 吉井大志／訳・監修 グラフィック社

ウミイグアナは孵化するとすぐ走り出す。ゾウの妊娠期間は650日、ラットは22日。ハチドリは1分間に250～300回呼吸する。ネコもゾウも、ウンチの時間は12秒。進化、寿命、睡眠、繁殖、排泄など、生き物によって異なる時間の流れを、豊富なイラストや写真を使って解説。

ほぼねこ ネコ科の猛獣たちのネコみたいな写真集

RIKU／著 辰巳出版

トラ、ユキヒョウ、ライオン……、動物園で見られるネコ科の動物たち。デカモフな猛獣たちが、ボール遊びをしたり、じゃれあったりする、「ほぼ、ねこ」な姿を捉えた写真集。

これでわかるPFAS汚染 暮らしに侵入した「永遠の化学物質」

原田浩二／編著 合同出版

PFAS(ピーファス)と呼ばれる有機フッ素化合物による水汚染が問題になっている。ピーファスは化学的に安定しており、自然環境の中では分解されにくく、長期に残留する性質があることから「永遠の科学物質」とも称される。ピーファスについて知り、何ができるか考えるための本。

声にコンプレックスがある人のための「伝わる声」の作り方 タイプ別「声質を活かした話し方」で成果を出す！

轟美穂／著 メイツユニバーサルコンテンツ

声にコンプレックスがあっても、声を無理に変えなくていい。声の高低や話すスピードなどで声質を8つのタイプに分ける声タイプ分析を使い、それぞれの声質に合った話し方を解説。マイナスと感じてしまいがちな所もプラスに変えてしまう、「自分の声を活かした話し方」を教えてくれる。

言語の力「思考・価値観・感情」なぜ新しい言語を持つと世界が変わるのか？

ビオリカ・マリアン／著 今井むつみ／監訳・解説 桜田直美／訳 KADOKAWA

複数の言語に通じると、まったく新しい思考法を手に入れることができる。心の働きと言語の関係を研究する学問である心理言語学の研究者が、言語と脳に関する最新の研究成果を基に、バイリンガルやマルチリンガル、複数の言語を話す人の脳や心で何が起きているか述べる。



小説・文学

め生える

高瀬隼子／著 U-NEXT

突然流行り始めた原因不明の感染症により、中高生を除くほとんどの人間の髪の毛が根こそぎ抜け落ちてしまった。以前から薄毛を気にしていた大学生の真智加も、髪がなくなった。真智加はみんな‘平等’なことに解放感を感じていたが、ある日新たな悩みに直面してしまう。

2023年創刊のレーベル、約100分夢中で読める中編小説「100 min. NOVELLA」から刊行された、芥川賞受賞(『おいしいごはんが食べられますように』)著者の最新作です。

まぼろしを織る

ほしおさなえ／著 ポプラ社

母の死により生きる意味を見いだせなくなった槐は、職も失い、川越で染織工房を営む叔母の伊予子の家に居候していた。そこに、転落事故に巻き込まれて心を閉ざしてしまった従兄弟の綸も同居することになる。伊予子の染織を手伝う槐と綸は、生き物の命から生まれる糸を植物から頂いた色で染め、一枚の布に織り上げるという作業を通じて、生きる意味を模索してゆく。

クリスティを読む！ ミステリの女王の名作入門講座

大矢博子／著 東京創元社

ミステリの女王、アガサ・クリスティを知っていますか。この本では、大人気講座「アガサ・クリスティを読む」の講師を務める書評家が、「探偵」「舞台と時代」「人間関係」の各章でオススメ作品を紹介しながら、人々を魅了する理由を解説します。最終章ではクリスティの騙しのテクニックにも言及。巻末の著作一覧には、早川書房クリスティ文庫と創元推理文庫の邦題が載っています。



文庫本

やわらかい砂のうえ

寺地はるな／著 祥伝社(祥伝社文庫)

砂丘の町出身の万智子、24歳。自分に自信がなく、恋愛は選ばれし者がするものだと思っていたが、バイト先で出会った取引先の男性に人生初の恋のときめきを感じる。しかし、恋するほどに自分のめんどくささと向き合うことになる。色々考えすぎて、相手から逃げ出す万智子。自信は他人から授けられるものではない、自分が「持つぞ」と決めるものだ、と年上の友人から言われ……。変わろうと奮闘する万智子を応援したくなる物語。

受験生は謎解きに向かない

ホリー・ジャクソン／著 服部京子／訳 東京創元社(創元推理文庫)

週末に友人宅で1924年の孤島に建つ豪邸を舞台にした殺人事件の犯人を探るゲームが開催されることになり、ピップにも招待状が届く。参加者は同級生六人とその兄。各自ブックレットに書かれた自分の役割を演じながら犯人当てゲームを楽しむなか、ピップは鋭い観察眼と推理力で真相に迫っていく。「自由研究には向かない殺人」の前日譚。ピップが自由研究にアンディ・ベル事件を選んだ理由が、ここで明かされる。